



五島・玉之浦町の漁師、1973年。撮影：河野裕昭

2018年

11月28日(水)▶12月18日(火)

写真展 油症事件と PCB 汚染を考える

日本最大の食中毒事件から50年——

1968年、西日本一帯に販売されていた米ぬか油にPCB・ダイオキシン類が混入していたことが原因で、1万人以上の人々が健康を害した「カネミ油症事件」。類似の事件は、1979年に台湾でも起きました。体内に入った毒物の影響で、いまなお多くの人々が苦しんでいます。

日本では2012年、ようやく被害者救済のための法律が制定されましたが、この事件が社会に投げかけた課題がなんであったのか、考える機会は少なくなっています。本展は、カネミ油症事件に関する唯一の写真集の著者である河野裕昭氏（1950-）による作品約50点（未公開作品含む）を中心に、油症事件とPCB汚染の過去から現在までをたどり、化学物質による負の影響に、わたしたちはどう向き合えばいいのかを考える場とします。

[展示内容]

I. カネミ油症事件 II. 台湾油症事件 III. 台南安順工場ダイオキシン汚染事件 IV. PCB・ダイオキシンとわたしたちの暮らし

長崎大学附属図書館
中央図書館
1F ギャラリー
(長崎市文教町 1-14)

入場無料

[平日] 8:30-22:00
[土日] 10:00-20:00

[共催]

日台油症情報センター

[協力]

カネミ油症被害者五島市の会
長崎本土地区油症被害者の会
台湾油症受害者支持協会

[後援]

長崎新聞社/西日本新聞社
/NHK 長崎放送局/NBC 長崎
放送/NCC 長崎文化放送
/九州朝日放送

[主催]

「油症事件とPCB汚染を考える
2018」長崎展実行委員会
代表：戸田 清
(長崎大学環境科学部)

[お問い合わせ]

電話：095-819-2784
担当：友澤 悠季

河野裕昭さん講演会

“油症事件の撮影をふりかえって”



五島・奈留町の蛸漁師、1973年。撮影：河野裕昭

2018年11月30日（金）14：30-16：00

長崎大学文教キャンパス環境科学部棟 141 教室

講師：河野裕昭さん（写真家） 司会：戸田 清（長崎大学環境科学部）

聞き手：友澤 悠季（長崎大学環境科学部）

参加無料



講師略歴 河野裕昭（こうのひろあき）

1950年生まれ。北九州市の高校に通っていた1968年10月、カネミ油症事件の報道に接する。大学進学で上京し、患者支援活動と共に写真撮影をはじめ。1976年に『河野裕昭写真報告・カネミ油症』を出版、写真展を北九州市で開催。ほか『水車の四季』（1983）『大吟醸』（1995）などの写真集がある。

主催：「油症事件とPCB 汚染を考える2018」長崎展実行委員会

座席確保のため、下記担当まで電話またはメールでの事前申込みをお願いいたします。（担当：友澤）

お問い合わせ・申込み先：095-819-2784 / yuukitomozawa@gmail.com